

3節 総合博物館

宮古島市総合博物館

所在地：〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添1166-287

電話：73-0567 FAX：73-0822

敷地面積：10,000㎡/建築面積：2,020㎡/展示面積：620㎡（常設展示及び特別企画展示室）

1 基本方針

宮古の歴史、民俗、自然科学、美術・工芸の4部門からなる総合博物館であり、宮古全域の自然と風土、歴史と文化にふれることができるような博物館づくりを目指している。

宮古圏域住民の文化活動・文化振興の拠点として、さらに島外から訪れる観光客や研究者へ宮古島を紹介するとともに、宮古にかかわる史資料の収集・保存・調査研究の成果を地域の人々に公開する場として、地域に根ざした様々な活用を図る。

2 常設展示

(1) 第一展示室

①歴史部門

宮古が史書に登場するのは比較的新しく、14世紀になってからのことである。

以後、争乱時代・豊見親時代・人頭税制時代・廃藩置県・旧慣改正期・第二次世界大戦と宮古の人々は様々な経験を経てきた。また、考古・歴史部門では宮古に人々が住み着いた時代から太平洋戦争までの歴史の流れを編年体で紹介している。

渡来人と遺跡	世替わり前の事件と災害
婆羅公管下密牙古人	台湾遭害事件
按司時代と目黒盛豊見親	ロベルトソン号救助
与那覇勢頭豊見親	下地仁屋利社殺害(サンシー)事件
朝鮮人漂流民の見た宮古	学校創設
仲宗根豊見親	人頭税廃止運動と土地整理
人頭税制下の宮古	日露戦争と宮古
西洋人の見た宮古	太平洋戦争と宮古

②民俗部門

沖縄の復帰後、宮古の人々の生活も大きく変化してきた。しかし、昔から引き継がれてきた伝統芸能や民俗行事などは、今もなお各地に継承されている。

民俗部門では、明治から昭和初期のカヤヤー(茅葺き家)を復元、当時の住居生活を紹介するとともに民具やジオラマ展示を用いて農耕・漁業・信仰・各地の主な民俗行事などを展示している。

衣 食 住	水と生活	漁 業
農 耕	民俗行事、信仰	

(2) 第二展示室

①自然科学部門

宮古諸島の原形はおよそ1万年前にできたといわれ、島全体が琉球石灰岩で覆われている。

自然科学部門では、宮古諸島の生い立ちを始め動物・植物・昆虫・天体・海洋・気象のコーナーを設け、実物資料やジオラマ展示を用いて宮古の自然を紹介している。特に「大野山林の鳥・ジオラマ」等は親子そろって楽しめるものである。

○宮古諸島の自然

気候、水の循環、地下水盆、地下ダム

○宮古諸島の成り立ち

島尻海岸の断層崖、陸橋の形成、不整合、石灰岩

- 宮古で発見された化石
ミヤコノロジカ（レプリカ）及び密集岩・ハシナガソデガイの化石・ゾウの化石
シマジリクジラの化石・サメの歯化石
- 宮古諸島の鳥類
大野山林の鳥、池間湿原の鳥類、サシバの渡り、アカハラダカの渡り
- 宮古諸島の植物、昆虫
- 宮古諸島のは乳類、は虫類、両生類
- 宮古島の海水に生息するエビ、カニ類
- 潮間帯（磯）の小動物たち

②美術・工芸部門

他の地域と異なる歴史と風土の中で育まれた宮古の文化は、特色ある織物や焼き物等の美術工芸品を生み出してきた。美術工芸部門では、宮古島市指定文化財となっている「旧家所蔵品」を中心に宮古の人々が創作や使用、あるいは鑑賞してきた美術工芸品を紹介している。

扁額聯	宮古上布製作工程	焼物
書(掛軸)	絵(掛軸)	焼物変遷コーナー
工芸品	絵画	織物

3 沖縄振興特別推進交付金事業を活用した取り組み

(1) デジタルコンテンツの整備

宮古島の歴史・文化・自然等を映像コンテンツを整備し、来館者へ情報をわかりやすく提供している。

①第一展示室

宮古の歴史と民俗を展示している。

島尻のパーントゥのレプリカの前にタッチパネル式端末を設置し、島尻のパーントゥ、野原のパーントゥの映像を提供している。御嶽コーナーでは、既存のボタン式のランプ点灯による御嶽の場所紹介に加え、宮古島市史年表の下に写真を設置し、更にタッチパネル式端末により御嶽映像も提供し御嶽の状況をよりわかりやすくしている。

②第二展示室

宮古の自然と風土を展示している。

「台風について」と「地球温暖化について」のコーナーにタッチパネル式端末を設置しており、地下水コーナーにおいても、宮古島の地下水の様子を分かりやすくジオラマを制作し、また、タッチパネル式端末にて農業と地下ダムの関係や様子を映像で見ることが出来る。同様に、宮古上布・針突コーナーではタッチパネル式端末を整備し、映像を提供している。

③ものしり博物館

博物館を入り、左側のコーナーに総合的なコンテンツとしてものしり博物館を設置している。

メインは、画面で見る写真と動画コンテンツで宮古島の史跡や遺跡などを数多く紹介し、中央の大型テレビで宮古島の民俗芸能、国指定、旧石器時代の遺跡、先史時代の遺跡、戦争遺跡、自然など85点の映像を見ることが出来る。バックパネルには東平安名崎や赤瓦屋根、石積みを描き宮古島の雰囲気表現している。

(2) 収蔵品目録作成事業

調査研究や資料収集・展示・保存・教育の普及の基礎となる収蔵資料等の整理と目録作成は、博物館の課題とされてきた。

平成23年度の「旧家資料編」を皮切りに、順次、平成24年度に「自然資料編」、平成25年度に「歴史資料編」、平成27年度に「民俗資料編」と、収蔵品の目録収録の冊子を刊行した。

これら目録作成により、収蔵品を可視化することで、今後、研究活動や学習の場などで活用されることを目標とする。平成29年度は、「美術工芸資料編」の目録を刊行した。

4 平成31・令和元年度 事業計画

(1) 企画展

	事業内容	期間
第35回	<p>宮古島市総合博物館開館30周年記念第35回企画展「みや昆－昆虫大集合－」</p> <p>平成31年3月、宮古島市教育委員会より『宮古島市史 第3巻 自然編 第1部（本編）みやこの自然』が発行された。同書は、2012年10月より編纂事業が開始され、7年近い年月をかけて宮古の自然にスポットをあて、宮古の地形や生息する様々な動植物などの調査研究がなされた。</p> <p>本展示では、その調査研究の過程で採取された昆虫やその写真、宮古の人々と昆虫との関わりを紹介することで、島の子どもたちが自然に対する興味関心を深める機会とする。</p> <p>【関連行事】 「虫と友だちになろう！」 講 師：佐々木 健志 氏（琉球大学博物館（風樹館）学芸員）</p>	<p>令和元年 7月19日（金）～ 9月1日（日）</p> <p>令和元年 8月4日 10:00～12:00</p>
第36回	<p>「平成29・30年度新収蔵品展」</p> <p>平成28～30年度にかけて、当博物館に寄贈及び寄託された資料を広く市民の皆様にも周知させることを目的とし、歴史、民俗、美術工芸、自然、視聴覚資料を紹介することで、幅広い分野を学ぶ場とする。</p> <p>また、当博物館に寄贈、寄託された皆様にも感謝するとともに、今後の資料収集活動への協力を呼びかける機会とする。</p>	<p>令和2年 1月24日（金）～ 2月23日（日）</p>

(2) 特別展示

	内 容	期 間
慰霊の日 関連平和展	<p>「戦中の宮古～造られた3つの飛行場～」</p> <p>戦中、宮古島に設営された3つの飛行場に焦点をあて、飛行場が設営された経緯や配属された部隊、学徒動員や地域住民の強制移住など、戦中の宮古について学ぶ機会とする。</p> <p>【関連行事】 「伊良部地区の戦跡巡り」 講 師：久貝 弥嗣 氏（宮古島市教育委員会生涯学習振興課 職員） 森谷 大介 氏（宮古島市教育委員会 生涯学習振興課 臨時職員）</p>	<p>令和元年 5月24日（金）～ 6月25日（火）</p> <p>令和元年 6月23日（日） 9:00～12:00</p>
特別展示	<p>博物館30周年記念展「収蔵資料30選展（仮称）」</p> <p>当館は平成元年11月1日に開館し、今年は30周年の節目の年である。11月1日の開館記念日にあわせ、当館収蔵の歴史・民俗・自然・美術工芸資料から職員一押しの30点を選び展示することで、常設されていない資料や選りすぐりの貴重な資料を観覧できる機会とする。</p> <p>【関連行事】 「キュレータートーク」 講 師：與那覇 史香（宮古島市総合博物館 学芸員）</p>	<p>令和元年 11月1日（金）～ 12月22日（日）</p> <p>令和元年 11月予定</p>

(3) ミニ展示

	事業内容	期間
1	<p>「昔のおもちゃ展」</p> <p>子どもの日にあわせ、昔のおもちゃを展示し体験してもらうことで、これらのおもちゃを知らない世代の子どもたちにも、かつての遊びを学び楽しむ機会とする。</p>	<p>平成31年 4月26日（金）～ 令和元年 5月12日（日）</p>
2	<p>「宮原昌茂展（仮称）」</p> <p>宮古美術界の草分け、宮原昌茂。2016年12月、インターネットオークションに出品されていた作品を市内の女性が落札した。この作品は市立図書館北分館に閉館の日まで展示され、本を借りて訪れる市民に安らぎを与えた。そしてこの度、本作品が当館に寄贈されることとなった。これに併せて、本作品及び当館所蔵の宮原昌茂作品を展示し芸術に触れる機会とする。</p>	<p>令和2年 3月頃</p>

(4) 子ども博物館

回数	概要	日時	講師
第1回	「開講式」、「綾道めぐり～平良・久松コース～」 平良、久松（松原・久貝）地区の史跡を巡り、地域の歴史や文化に触れ機会とする。	5月12日（日） 9:00～12:00	久貝 春陽 氏 （宮古島市教育委員会 生涯学習振興課職員）
第2回	「野草の観察会と野草料理～野草肉団子みそ汁作り～」 食べられる野草を観察採取し、野草料理を作ることで宮古の自然について興味関心を深める。	6月16日（日） 9:00～13:00	川上 勲 氏 （元高校教諭）
第3回	「科学を楽しもう！」 演示や実験を通して、身の回りにひそむ科学に気づく芽を育てる。	8月25日（日） 9:00～12:00	亀山 明子 氏 （元博物館嘱託職員、 元中学校教諭・理科）
第4回	「十五夜のシーシャ作り」 十五夜にあわせ、平良の一部地域で行われるシーシャガウガウの獅子頭を作ることで地域の文化を学ぶ。	10月23日（日） 9:00～12:00	博物館職員
第5回	「紙すき体験」 宮古上布の原料でもある苧麻の繊維のなかでも、糸にならない部分を用い、苧麻による紙漉きを体験する。	12月15日（日） 9:00～12:00	仲間 伸恵 氏 （琉球大学教育学部准教授）
第6回	「海業センター見学」、「閉講式」 宮古の海へ、魚を放流する事業を主体として始まった海業センター。現在は、シャコ貝類などの養殖事業を始めている。今回、シャコ貝の植え付け作業を通して、宮古の海業について考える機会とする。	2月16日（日） 9:00～12:00	島田 剛 氏 （宮古島市海業センター 職員）

(5) 博物館講座

回数	内容	日時	講師
第19回	「天体の話（仮称）」	令和元年 7月28日（土） 14:00～16:00	有松 亘 （京都大学）
第20回	「グローバルな視点からみた 宮古島諸島の成り立ちや環境」	令和元年 10月5日 14:00～16:00	藤田和彦氏 （琉球大学理学部教授）

5 平成30年度 事業実績

(1) 企画展

	事業内容	期間(備考)
第34回 企画展	「東松照明写真展 沖縄・宮古 1972-1983 -46年前子どもだったあなたは、今どうしていますか-」 写真家・東松照明氏が撮影した宮古島関連の写真を再編集し展示することで、東松氏がみたかつての宮古島の姿を知るとともに、復帰前後の宮古の風俗や当時の社会事情を学ぶ機会とする。 入館者数：2,645人 【関連行事】 「未来の写真家たちへ」中・高校生のためのワークショップ 講師：東松 泰子 氏（東松照明オフィス INTERFACE 代表） 参加者：8人	平成30年 8月10日（金）～ 9月16日（日） 平成30年 8月10日（金） 10:00～12:00

(2) 特別展示

	内 容	期 間
慰霊の日 関連平和展	「米軍撮影空中写真からみる戦中の宮古」 沖縄県公文書館所蔵の米軍撮影空中写真（1945年5月撮影）を通して、戦中の宮古の状況を知るとともに、平和について考える機会とする。 入館者数：1,453人	平成30年 5月25日(金)～ 6月24日(日)
	【関連行事】 「上野地区の戦跡巡り」 講 師：久貝 弥嗣 氏（宮古島市教育委員会生涯学習振興課職員） 参加者：19人	平成30年 6月23日(土) 9:00～12:00

(3) ミニ展示

	事 業 内 容	期 間
1	「昔のおもちゃ展」 子どもの日にあわせ、昔のおもちゃを展示し体験してもらうことで、これらのおもちゃを知らない世代の子どもたちにも、かつての遊びを学び楽しむ機会とする。 入館者数：1,091人	平成30年 4月27日(金)～ 5月13日(日)
2	第17回博物館講座関連ミニ展示「宮古島市総合博物館「もの」がたり」 10月7日(土)開催した第17回博物館講座「宮古島市総合博物館「もの」がたりー近年の収蔵資料調査による新発見と価値の再検証ー」に関連する当館所蔵の旧家・祥雲寺資料、美術工芸資料を展示することで、講演会についてより理解を深める。 入館者数：451人	平成30年 10月3日(水)～ 10月14日(日)
3	第17回博物館講座関連アンコールミニ展示「宮古島市総合博物館「もの」がたり」 第17回博物館講座関連ミニ展示（10月3日～10月14日開催）にて展示した資料のうち、特に好評だった数点を厳選してアンコール展示をすることで、当館所蔵資料について理解を深める機会とする。 入館者数：450人	平成31年 1月4日(金)～ 1月13日(日)

(4) 子ども博物館

回 数	概 要	日 時	講 師
第1回	「開講式」、「苧麻刈り体験と草木染め」 宮古上布の原料である苧麻に触れ、草木染めを通して宮古の織物について学ぶ。 参加者：23人	平成30年 5月20日(日) 9:00～13:00	神里 佐千子 氏 (宮古上布織物組合 専務理事長)
第2回	「下地・来間の史跡めぐり」 下地・来間の史跡を巡り、子どもたちに宮古の歴史を学ぶ。 参加者：19人	平成30年 6月10日(日) 9:00～12:30	久貝 春陽 氏 (宮古島市教育委員会 生涯学習振興課 職員)
第3回	「子ども博物館×みずのわ教室コラボ企画 ー宮古島の地層と海岸の観察会ー ※台風14号の影響で、講師の藤田和彦氏が来島できず、急遽、地下ダム資料館の見学に変更となった。 参加者：16人	平成30年 8月11日(日) 9:00～12:00	藤田 和彦 氏 (琉球大学理学部教授) 藤田 滋 氏 (地下ダム資料館 職員)
第4回	「子ども博物館×みずのわ教室コラボ企画 水辺の生きものと標本づくり」 水環境を中心に、宮古島の自然と動植物の関わりをテーマに講演と観察を行うことで、宮古の自然を学ぶ。 参加者：23人	平成30年 9月9日(日) 9:00～12:00	佐々木 健志 氏 (琉球大学資料館(風樹館) 学芸員)

第5回	「石蒸し調理ー先史時代の料理法ー」 先史時代の調理を実際に体験し、宮古の歴史について興味関心を深める。 参加者：19人	平成30年 12月16日(日) 9:00～13:00	博物館職員
第6回	「野草の観察会と野草料理 ～野草ハンバーグを作ろう～」、「閉講式」 食べられる野草を観察採取し、野草料理を作ることで宮古の自然について興味関心を深める。 参加者：11人	平成31年 2月10日(日) 9:00～13:00	川上勲 (元高校教諭)

(5) 博物館講座

回数	内 容	日 時	講 師
第16回	「新しい太陽系のすがた」 ※講師の都合により中止。	平成30年 7月28日(土)	有松 亘 氏 —(国立天文台天文情報セン ター 特別客員研究員)—
第17回	「宮古島市総合博物館「もの」がたり ー近年の収蔵資料調査による新発見と価値の再検証ー」 参加者：30人	平成30年 10月7日(日) 14:00～16:00	稲福 政斉 氏 (沖縄国際大学、 沖縄大学 非常勤講師)
第18回	宮古島市総合博物館×みずのわ教室コラボ企画 「石灰岩地域の地下水研究」 参加者：8人	平成31年 1月26日(土) 14:00～16:00	安元 純 氏 (琉球大学農学部 准教授)

① 「発掘調査速報展2017年度～2018年度」

期 間：10月26日(金)～11月11日(日)

主 催：宮古島市教育委員会生涯学習振興課

入館者数：658人

② 「宮古諸島における15～17世紀の集落ー残された「モノ」から読み解くー」関連展示

期 間：平成31年2月9日(土)～3月17日(日)

主 催：宮古島市教育委員会生涯学習振興課

入館者数：2,223人

6 施策の推進体制

宮古島市総合博物館協議会委員

博物館協議会委員の職務（総合博物館協議会規則第2条）

協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに館長に対して意見を述べるものとする。

4節 文化ホール

1 設置目的

住民の舞台芸術活動を推進し、住民文化の創造に寄与するとともに、住民生活の向上を図る。

2 施設の概要

所在地：〒906-0013 宮古島市平良字下里108-12

①延床面積	4,354.61㎡	892席	⑤舞 台	三菱重工マトロシステム [®]
②客 席	固定席	747席	間 口	18m
	移動席	133席	奥 行	14m
	(うち障害者車椅子席	25席)	高 さ	8m
	背たおれ席	12席	床面材質	桧集成材
	親子観覧室	8㎡×2室	バ ト ン	8本
③楽 屋	楽 屋 1 (洋室	59.00㎡)	反響板	有り
	楽 屋 2 (和室	71.05㎡)	緞帳	速度調整可
	楽 屋 3 (個室	18.74㎡)	⑥照 明	調光設備 松村電機製作所
④ホワイエ(ロビー)	347.91㎡		⑦音 響	音響設備 TOAエンゾニアリンク [®]

3 施設の開館日及び開館時間

(1) 開館日

火曜日から日曜日（ただし、祝日法による休日、年末年始及び慰霊の日は除く）

(2) 開館時間

午前9時から午後10時まで（催物のない場合は、午前9時から午後5時まで）

4 施策の体制

宮古島市文化ホール運営委員会

委員の職務（文化ホール運営委員会規則第2条）

- (1) 宮古島市文化ホール（以下「文化ホール」という。）の運営基本計画に関すること。
- (2) 文化ホールの自主事業に関すること。
- (3) 文化ホールの利用普及に関すること。
- (4) その他教育長が必要と認めること。

5 自主文化事業

(1) 事業の基本理念

宮古島市文化ホールは“音楽もできる劇場型多目的ホール”という位置づけがされている。地域独自の風土の中で育まれた文化の育成と、住民が質の高い芸術文化活動を鑑賞または経験して、新たな文化と伝統文化の融合・発展を先導するための文化拠点とする。


(2) 事業の内容

- ①鑑賞事業 住民に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。
- ②文化育成事業 住民の自主的な文化創造活動を支援する。
- ③文化交流事業 住民の芸術文化活動と他地域の芸術文化活動の交流促進を図る。

6 令和元年度事業計画

4月	通常業務（貸館）
5月	劇団パレイド公演「大切なもの～ワンヌイミ～」【5月25日（土）】
6月	通常業務（貸館）
7月	通常業務（貸館）
8月	劇団かなやらび夏公演「碧の涙雨（なださめ）」【8月10（土）～8月11日（日）】 「マティダストリートダンス4」【8月23（金）～8月25日（日）】
9月	通常業務（貸館）
10月	通常業務（貸館）
11月	通常業務（貸館）
12月	通常業務（貸館）
1月	通常業務（貸館）
2月	通常業務（貸館）
3月	第5回マティダお笑い劇場【3月22日（日）】

7 平成30年度 事業実績

	事業内容	期 間
1	<p>「第4回マティダお笑い劇場 劇団ぴん座公演」</p> <p>劇団ぴん座は、みやこ芝居の確立を目的のひとつにしており、平成27年に結成された。「ブガリノース」（宮古方言でリフレッシュや疲労回復）をキーワードに、宮古方言や伝統文化の継承および市民参加型の新たな地域文化の創造を目的としている。</p> <p>【出演者】15人</p> 	<p>平成31年 3月10日（日）</p> <p>観客数627名</p>

	事業内容	期 間
2	<p>「マティダライブ11」</p> <p>音楽やダンスパフォーマンスなどに真摯に取り組んでいる高校生に、発表の機会を提供し、活動の支援を行った。高校生の自主運営による「創造する喜び・達成感・連帯感」を育む事を旨とする。</p> <p>【出演者】 ○高校生バンド 5組 出演者 57名 ○高校生ダンスチーム 3組 スタッフ 10名</p> 	<p>平成31年 3月28日(木)</p> <p>観客数300名</p>
	事業内容	期 間
3	<p>「マティダストリートダンス3」</p> <p>「生きる力」を育むことを目的に、学習指導要領に取り入れられている現代的なリズムのダンス(ストリートダンス)を通して、学生による新しい地域文化の創造、仲間との共感を育むことを目的に、ダンスの公演を開催した。</p> <p>【出演者】 80人</p> 	<p>平成31年 3月24日(日)</p> <p>観客数250名</p>

8 平成30年度利用状況

① 月間稼働率

	稼働可能日	稼働実日	稼働率(%)
4月	24	3	12.5
5月	24	8	33.3
6月	25	12	48.0
7月	25	11	44.0
8月	26	14	53.8
9月	23	7	30.4
10月	25	13	52.0
11月	25	17	68.0
12月	22	14	63.6
1月	23	11	47.8
2月	23	8	34.8
3月	26	13	50.0
合計	291	131	45.0

② 目的別利用状況

催し物の種別	回数	比率(%)
音楽	26	18.2
演劇	5	3.5
舞踊	9	6.3
映画	1	0.7
大会/式典	7	4.9
講演会/講習/研修会	1	0.7
教室等発表会	9	6.3
その他	85	59.4
合計	143	100.0

③ 入場者数月間稼働率

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
4月	785	150	1,570	2,830	800
5月	3,400	3,840	4,710	4,230	2,900
6月	3,690	4,922	2,770	5,630	4,832
7月	3,632	4,290	1,610	4,490	3,700
8月	4,830	2,050	2,180	1,450	1,700
9月	1,490	1,392	2,930	700	3,360
10月	3,200	6,900	8,170	5,590	3,850
11月	9,230	8,637	5,930	4,350	5,910
12月	5,660	5,070	5,170	2,240	6,472
1月	1,231	4,684	5,020	2,760	1,360
2月	3,733	2,520	2,580	2,295	2,630
3月	3,960	7,721	3,260	5,794	4,568
合計	44,841	52,176	45,900	42,359	42,082